

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月21日(金)

事務事業		企業立地関連促進事務		担当課	産業ブランド推進室	担当係	企業誘致推進係	管理番号	38312	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり	根拠法令 個別計画等	都市計画法、農振法、農地法、土地区画整理法、借地借家法、深谷市総合計画、深谷市都市計画マスタープラン等					
	小項目	1	商工業の振興							
	主要プロジェクト									
事業概要		雇用創出及び自主財源の確保を目的として、工業団地の開発や産業拠点の整備などの企画立案及び進行管理を行うものである。令和4年度には、花園IC拠点整備プロジェクトにより整備された各施設が開業した。								
目的 ※何のために		雇用創出及び自主財源確保のため								
対象 ※誰・何を対象に		開発可能な一団の土地（花園IC周辺地域、交通利便性の高い地域など）								
手段 ※どのように		都市計画法や農振法などの土地利用に係る諸条件の調整を行う								
成果 ※何を求めるか		工業団地の開発及び産業拠点を整備								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	産業拠点推進事業	288,046,938
本事業の 主な業務		・ 花園IC拠点整備プロジェクトの進行管理（H28～R4）				・ 観光連携施設の企画立案（H28～R3）				
		・ 民間ゾーンに係る契約調整（H28～R3）				・ 維持管理に係る契約調整（H31～R3）				
		・ 公共ゾーンに係る契約調整（H28～R3）				・ 工業団地の適地検討（H28～R2）				
		・ 地権者との契約調整（随時）				・ 関係機関の調整協議（随時）				
		・ 地権者だよりの発行（随時）				・				
		・ 地権者説明会の開催（随時）				・				

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		花園IC民間事業者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討		
事業費	予算（現額）	0	289,730,000	238,506,000	244,196,000		
	決算額	0	288,046,938	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	288,046,938	238,506,000	244,196,000	
人件費	従事職員数（人）	3.15	1.70	1.15	1.15		
	人件費相当試算※	24,789,105.00	13,617,281.00	9,615,035.00	9,615,035.00		
総事業費試算		24,789,105	301,664,219	248,121,035	253,811,035		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	花園 I C 地権者説明会等の開催	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	1.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の進捗に合わせ、必要に応じて開催するため、数値目標は立てられない。					
	実績値の算出式								
活動指標 2	花園 I C 地権者だよりの発行	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		6.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の進捗に合わせ、必要に応じて発行するため、数値目標は立てられない。					
	実績値の算出式								
活動指標 3	県等との関係機関の調整	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		6.00	5.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の進捗に合わせ、必要に応じて実施するため、数値目標は立てられない。					
	実績値の算出式								
成果指標 1	開発候補地の選定件数	目標値	件	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
		実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の進捗に合わせた目標値の設定					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	地権者説明会については、区画整理課が開催したものに出席し、必要な情報の周知を行った。令和5年度中に実施を予定していた事務については、予定どおり実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	未だ開発候補地選定には至っていないものの、令和6年度に実施を予定している可能性調査業務の実施に向け、必要な事前調整を実施することができた。
			評価者 企業誘致推進係長 小暮 正樹

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	地代の支払いなど定例的な事務については、既に効率を考慮して事務を執行しているが、より正確で効率的な実施ができるよう継続して検討していく。
			評価者 企業誘致推進係長 小暮 正樹

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	産業団地整備の整備にあたっては、中長期的な計画により検討を行っていくことが望ましい。 令和5年度はその走り出しとして、まずは過去の調査委託の成果品の確認や実地調査などを実施し、調査・検討を進めていく。
達成状況及び その効果	令和5年度には、過去の調査委託の成果品の確認や実地調査などを実施したのに加え、関係機関との調整などにも着手し、令和6年度以降の調査検討にあたって必要な事務を行うことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	企業立地関連促進事務	担当課	産業ブランド推進室	担当係	企業誘致推進係	管理番号	38312
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		令和6年度に実施予定の産業集積拠点整備可能性調査を着実に進め、新たな拠点整備の検討を実施するとともに、それと並行し、来年度以降も滞りなく業務を進められるように中長期的な視点で庁内、関係機関との調整を実施していく必要がある。 また、花園IC拠点整備について、説明会開催や地権者だより発行などの事務は令和6年度以降ほぼ無くなることが予想されるため、活動指標の見直しも実施すべきである。					
		評価者	産業振興部次長兼産業ブランド推進室長 福島 正孝				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

